

ピックアップカリキュラム

生涯スポーツ学部

スポーツ教育学科 スポーツトレーナーコース		
スポーツ教育コース	競技スポーツコース	
スポーツ教育学 指導対象者の体力・年齢・目的に応じたスポーツ指導の方法について学びます。運動観察・評価の方法、指導内容・方法・計画の立案方法など、実際のスポーツを指導する際に必要となる基礎的・実践的な理論を学習します。そのうえで各自が専門とするスポーツの指導方法について考察します。	コンディショニング理論 あらゆるスポーツ選手にとって、試合で高いパフォーマンスを発揮するためのカギとなるのは、身体の調子を整える「コンディショニング」です。この講義では、選手のコンディショニングを把握する方法や、コンディショニングを実践するうえで必要な各種方法の理論的背景について理解を深めます。	スポーツの戦術・戦略論 戦術・戦略は、試合において直接的または間接的に相手に対し技能を発揮する技法です。この講義は、目的達成のため組織的に攻撃・防御の準備を行う方法や手段を身につける戦術トレーニングと、プレーの組織化を遂行する戦略について学び、個々の競技力向上に役立てることを目的としています。
学校教育研究 A・B 学校体育における諸問題や指導方法についての認識を深め、学校教育現場に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得します。また、保健体育科の目的のひとつである「生きる力」の育成のために必要とされる知識と資質の習得をねらいとしています。なお、3 年次の A では基礎・基本を重点的に学び、4 年次では発展的な課題について学びます。	健康産業施設実習 現在、地域の健康づくりの場において需要が高まっている「健康運動指導士」。この科目では、同資格の取得をめざして、フィットネスクラブや健康づくりセンターなどで現場実習を行います。身体状況や体力など、対象者のさまざまなデータを把握し、具体的に対応できる実践力を身につけます。	競技スポーツコーチング演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰでは、基本的なコーチングに必要な観察力や伝達力を養い、段階的な指導方法を身につけていきます。演習Ⅱでは、競技種目の歴史や成り立ち、競技特性としてのルールや技術・戦術を理解したうえで、より実践的に競技力向上に必要な知識やトレーニング法を学び、優れた実践力をもった指導者をめざします。

健康福祉学科

認知症ケア論

尊厳をもって自分らしく生きたい、それは誰もが願うことでしょう。しかし認知症の方は、病気のためにそれが難しくなってきます。この講義は、認知症のさまざまな症状を理解することからスタート。認知症の方の尊厳を支え、思いに寄り添い、その人らしさを支援するケアの方法を考えます。

ソーシャルワーク論Ⅰ

相談援助の過程と、それにかかわる知識や技術について理解します。相談援助における援助関係のあり方や面接技術の知識などを理解し、人間関係形成のための基礎的なコミュニケーションや対人援助の技法を学びます。そして「相談援助演習Ⅱ」において、この講義の学習内容を実際に経験します。

中高年スポーツ論

健康づくりのための運動が必要となる対象者の多くは中高年層であり、個々人のライフサイクルを見据え、「健やかに老いる」ための方法を計画し、提案を行うことが重要です。この講義では、国内の健康づくりの取り組みや施策、身体的な特徴を把握したうえで、中高年に対する運動指導に必要なアプローチ法を学びます。

介護技術演習Ⅱ

介護を必要とされる方々の生活状況を知り、その生活援助や介護福祉士の役割、基本的な生活支援技術を学ぶ演習科目です。居住環境の整備、車いすや食事の介助などについて、学生たちは4人ほどのグループを組み、利用者役と介護者役となって実際に福祉用具を使いながら理解を深めていきます。

相談援助演習Ⅱ

この演習では、実際の「援助場面」を想定しながら相談援助の過程（ソーシャルワークのプロセス）について理解することをねらいとしています。相談とはどのような経路で持ち込まれるのか、初回の面接ではどのようなことをするのか、そして具体的に何をすることが相談援助なのか。個別の場面を明確にイメージできるようになるための演習です。

生涯スポーツ(障がい者スポーツ)

ボッチャやゴロ野球、シッティングバレーボールなど、実際に障がいのある人たちが取り組んでいるさまざまな障がい者スポーツを行います。実技体験を通して、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在および将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行ううえでの配慮事項について理解します。